

22. 愛知県 (Aichi Pref.)

作成者:高橋匡司<sup>1)</sup>;協力者:浅野 隆,伊奈 紘,大鐘裕道,大曾根剛,高橋 昭,高井則幸,魚住泰弘 作成日付:2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	V	ヒョウモンモドキ	-	-	藤岡町,小原村の限られた3 地点のみ	1960年6月の1 が最初の記録であるが,1963 年の記録を最後に全く確認されていない	産地の一部は,往時の現況を残してはいるもの の,全体としては荒廃・衰退要因は不明	高橋 昭(1976),佳香蝶,28(107)p33-37に記述 あり
EX	ア	V	シルビアシジミ	-	-	鳳来町,大府市,知多半島 の美浜町,祖父江町・八開 村・弥富町等の木曾川堤防, 名古屋市の庄内川堤防, 岡崎市の矢作川堤防	一部地域では食草のミヤコグサは現存しているも のの,1980年代後半以降,本種の記録は全くな い	河川堤防の改修,管理形態の変化などによる生 息地の消滅・荒廃	-
EN	オ,ソ	-	スジボソヤマキチョウ	-	富山村,豊根村,津具村,稲 武町などの東三河山間部	鳳来町,新城市等東三河南 部,旭町,小原村,足助町, 豊田市等の西三河北部,瀬 戸市の尾張北部の丘陵・山 間部	1990年代に富山村で卵が確認されているが,成 虫の記録は1970年代後半以降はほとんどない	食餌植物は散見されるものの,植林の進行,自 然混交林の成長・管理放棄等による生息環境の 劣悪化	「NAPI NEWS 279」(1999)p.2578に卵の記述あり
EN	ソ,テ, ナ	-	ヒメヒカゲ	作手村,新城市	鳳来町,一宮町,豊橋市,豊 田市,瀬戸市,長久手町	藤岡町,額田町,岡崎市,犬 山市,春日井市,日進市,名 古屋市,尾張旭市	作手村,新城市,豊橋市,豊田市の保護地域を 除くと,1990年代後半以降ほとんど記録はなく, 多くは消滅あるいは消滅寸前の状態	宅地化・道路拡張・埋め立て等による生息地(東 海地区特有の限られた過湿貧栄養の露地状湿 原)の消滅・荒廃・過度の採集	前述の4市町の一部の生息地は国や県・市の湿 性植物の保全地域となっている
EN	ク,シ	R	ハヤシミドリシジミ	-	旭町の限られた地域で,県内 唯一の分布地	-	カシワの生育地に限られ,近年,減少傾向	カシワの伐採や周辺植生の繁茂・管理放棄によ る若木の生長不良等の生息環境の劣化	「旭町の昆虫」(2001)p.253に採集デ - タの記載 あり
EN	ク,ツ	R	ミヤマカラスシジミ	-	稲武町,東栄町のごく限られ た地域	-	ごく限られた地域に分布し,近年激減している	湿地の減少,周辺植生の繁茂・管理放棄などによ る生息環境の劣悪化・過度の採卵	-
EN	オ,ソ, ク,ツ	V	クロシジミ	-	鳳来町,作手村,新城市	津具村	1995年頃までは鳳来町で確実に生息していた。 限定地に発生するため把握しきれない面もある が,近年,記録は発表されていない	草原の森林化等の管理放棄による生息環境の 劣悪化	「NAPI NEWS 279」(1999)p.2578に記述あり
EN	オ,ソ, テ,ナ	-	ゴマシジミ	-	旭町	稲武町,設楽町,作手村,小 原村,足助町,藤岡町	1980年代前半までは限られた地域の湿性草原に 相当数分布していたが,その後は激減,1999年 に旭町で数頭が確認されている	湿性草原の遷移による草木の繁茂・管理放棄や 機械による草刈り等管理形態の変化による生息 環境の劣悪化・過度の採集	「旭町の昆虫」(2001)p.257に採集デ - タの記載 あり
EN	オ,ソ, ツ	-	チャマダラセセリ	-	豊根村,稲武町	津具村,東栄町,設楽町,旭 町,小原村等の東三河,西 三河の丘陵地から山間部	1980年代後半頃から激減,1990年代前半は一部 の地域で確認されていたが,その後記録がない まま現在に至っている。1997年から3年間の旭町 の調査では確認されていない	明るい草地の消滅・牧場等かつての生息地は 残ってはいるものの草地更新による環境の劣 化・過度の採集	「旭町の昆虫」(2001)p.229に調査結果の記述あり
EN	シ,ソ, ツ	R	ホシチャバネセセリ	-	豊根村	稲武町,旭町	分布は極めて局所的であり,1980年代前半の記 録しかない。1997年から3年間の旭町の調査で は確認されていない	機械による草刈り等管理形態の変化や農道改修 等による環境の劣化	「旭町の昆虫」(2001)p.231に調査結果の記述あり
EN	オ,ソ	-	ミヤマチャバネセセリ	東三河山間部の一部	豊根村,津具村,東栄町,鳳 来町等の東三河山間部	豊橋市,豊田市,岡崎市,春 日井市,犬山市,名古屋市な ど丘陵地から平地部の広域 な範囲	1980年代前半までは各地で確認されているが, その後,東三河地区など一部を除いてほとんど 記録がないまま現在に至っている	水田の近傍の草地や小湿地などの生息地が農 地改修・道路付替え・埋め立て等により消滅,荒 廃	-
VU	タ,ニ, ヌ	-	ツマグロキチョウ	-	豊根村,設楽町,豊橋市,藤 岡町,豊田市,小牧市,日進 市,豊明市,尾張旭市,名古 屋市,武豊町など山間部から 平地部にかけてのほぼ全域	-	1980年代後半から全域で激減している。最近 は本来の生息地とは異なる宅地造成地で一時的 に多産するが,住宅の建設と共に激減している	河川改修,宅地造成等による草地の消滅に加え て,食草のカワラケツメイが機械で徹底的に刈り 取られ激減したため	-
VU	タ,テ, ニ	-	ウラナミジャノメ	新城市,豊橋市,旭町	鳳来町,作手村等の東三河 南部,小原村,豊田市等の 西三河北部や武豊町,美浜 町の知多半島部	足助町,藤岡町,岡崎市等 の西三河地区,犬山市,春 日井市,長久手町,日進市 等の尾張地区,名古屋市東 部	湿原周辺に生息するため,名古屋およびその 周辺の市街地に近いところは1970年代に激減も しくは絶滅している。新城市や旭町の丘陵部で は,現在でも少ないながらも継続的に確認できる	湿地の埋め立て,農道改修等による生息地の消 滅や減少	豊橋市茸毛湿原は県の湿性植物保全地域に指 定されている
VU	タ,テ, ニ	R	フジミドリシジミ	稲武町	富山村,豊根村,津具村,設 楽町の東三河山間部や足助 町のブナの生育林	-	ブナ林に依存して分布するため,生息地は限ら れ,個体数は減少傾向にある	ブナ林の伐採や遊歩道の建設等による生息環境 の劣悪化	稲武町面の木峠は町教育委員会により採集禁止 地域に指定されている
VU	タ,ト, ニ	V	クロツバメシジミ	-	富山村,豊根村,鳳来町	鳳来町の大島川流域の一部	ツメレンゲなどの食草に依存して生息するため, 生息地がごく限られ,しかも近年,個体数は減少 傾向にある	鳳来町大島川の産地はダム建設のため消滅。過 度の採集・食草であるツメレンゲも山野草ブ - ム により過度の採取を受けている	保全活動を展開していた鳳来町七郷一色小学 校では,廃校に伴い民家の石垣に食草と本種を移 植中
VU	タ,テ, ヌ	-	ヒメシジミ	-	設楽町,作手村,旭町の湿 性草原	豊根村,津具村,稲武町,小 原村,足助町の湿性草原	分布は極めて局地的であり,湿性草原に限られ る。作手村,旭町,設楽町の一部以外は既に絶 滅している	湿性草原の遷移による狭小化等の生息環境の 劣悪化・過度の採集	作手村と旭町の生息地は県の湿性植物保全地 域に指定されている

## 22. 愛知県 (Aichi Pref.)

作成者:高橋匡司<sup>1)</sup>,協力者:浅野 隆,伊奈 紘,大鐘裕道,大曾根剛,高橋 昭,高井則幸,魚住泰弘 作成日付:2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	カ,ス, タ,テ	R	ギンイチモンジセセリ	-	富山村,豊根村,津具村,稲武町,設楽町の三河山間部ならびに新城市,一宮町,豊川市,豊橋市の三河平地区	旭町,岡崎市,安城市,春日井市	分布は局地的で,河川敷・堤防・山地の草地に生息しているが,最近では豊川市の安定的な発生地を含めて,多くの産地で減少している	河川改修・埋め立等による生息環境の劣悪化や機械による草刈りなど管理形態の変化	-
VU	タ,テ	R	スジグロチャバネセセリ	-	富山村,豊根村,稲武町,設楽町の東三河山間部	足助町	分布は局地的であり,中部地方の南限となっている.少ないながらも確認できる	農道改修・管理放棄による草地の減少や機械による草刈りなど管理形態の変化による生息環境の劣悪化	-
NT	チ,ト, ヌ	-	ギフチョウ	旭町,小原村,足助町,藤岡町,豊田市の西三河,瀬戸市,長久手町,日進市の尾張東部ならびに春日井市,小牧市,犬山市の尾張北部の愛岐丘陵	鳳来町,作手村,新城市の東三河南部ならびに岡崎市や名古屋守山区	東栄町,設楽町の東三河山間部,豊橋市,音羽町,額田町等の三河地区南部	近年,尾張地区に比べて三河地区全域で絶滅ないし減少傾向が際だっている	宅地開発,ゴルフ場建設,道路改修拡幅,植林の進行等による生息環境の劣悪化や雨水による表土の流失,自然混交林の成長・管理放棄による食草であるカンアオイの生育不良.全国各地から集まるマニアの過度の採集	石塚三郎(1999)佳香蝶51(197)p11-12に名古屋市内のギフチョウの記述あり.最近,各地で里山の保全・創生活動の進展に伴い,本種の保護保全活動が盛り上がりつつある
NT	チ,ト, ネ,チ	R	クロヒカゲモドキ	足助町,下山村,額田町	鳳来町,旭町,豊田市,岡崎市	設楽町	1980年代前半から記録は少なくなっているが,足助町や下山村等では現在でも安定して発生している.一方,岡崎市や豊田市の一部では,圃場の整備・改修や落葉樹林内の遊歩道の整備による環境の変化で個体数が減少している	丘陵部の圃場整備・改修による草地の消滅・荒廃や自然混交林の成長・管理放棄による生息環境の劣悪化	-
NT	チ,ヌ, ト	-	オオヒカゲ	作手村,小原村,足助町の樹林内湿地	富山村,豊根村,稲武町,設楽町の三河山間部,豊田市,下山村の西三河丘陵部や瀬戸市	旭町	近年,樹林内の湿地の減少等により,個体数は減少傾向にある.旭町では,湿地の狭小化のため1994年を最後に記録がない	圃場整備・改修による湿地の消滅や自然混交林内の湿地の減少等による生息環境の劣悪化	-
NT	チ	R	コキマダラセセリ	稲武町	豊根村	-	1951年豊根村で初記録されて以来,2例のみの記録しかなく,生息している岐阜県の隣接地域での調査に力点が置かれた.1994年に稲武町で新しく生息地が確認されている	湿地依存性が強く,分布が極めて限られる.湿地の遷移による狭小化等の生息環境の劣悪化が懸念される	「稲武町史」(1996)p.428に調査結果の記述あり
DD	ウ	-	ウラギンヒョウモン	豊根村,稲武町,設楽町などの三河山間部や作手村の明るい草原に普通にみられた.近年,名古屋市など平地区では殆ど確認されていない	-	-	作手村を除くと,近年,普通に見られた山間部の草原や人家の庭先で個体数の減少が続いている	-	-
DD	ウ	EX	オオウラギンヒョウモン	名古屋市近郊(1937)と南知多町(1956)の二例が記録されているのみ	-	-	採集年月日,採集地などのデータが不詳であり,標本も現存していないため,過去に確実に分布していたと判断するには,現段階では情報が不足している	-	-
DD	ウ	-	ゴイシジミ	豊根村,稲武町などの三河山間部や豊田市,篠島など局地的な分布となっている.近年は確認例が極めて少ない	-	-	本種の発生は,タケ・ササに寄生するタケノアブラムシの発生状況に左右される.タケ・ササは県内各地に生育しているものの,調査は不十分である	-	-
DD	ウ	-	スギタニルシジミ	富山村,豊根村,津具村,稲武町,東栄町,設楽町,鳳来町の東三河山間部や旭町で分布が確認されている	-	-	トチノキに依存している産地の個体数は少ないが,発生は局地的であり,トチノキそのものが減少傾向にある.東三河の一部は,貧餌植物がキハダと推定されるものの調査が不十分である	-	-

(参考文献)

愛知県(2002)デッド・タブックあいち動物編2002.愛知県環境部自然環境課,p.193-355

伊奈 紘・鈴木友之(1996)チョウ類,設楽町史自然編資料.北設楽郡設楽町,p.311-326

鈴木友之(1996)稲武町史-自然-本文編.稲武町教育委員会,稲武町,p.427-430

高橋 昭・葛谷 健・阿江 茂ほか(1991)愛知県のチョウ類,愛知県の昆虫(下).愛知県農地林務部自然保護課,p.21-95

高橋匡司・阿江 茂・田中 蕃ほか(2001)旭町のチョウ類,旭町の昆虫.(財)旭高原自然活用村協会,旭町,p.225-284

竹本秀邦・高柳久和・浅岡孝知ほか(1999)豊橋市自然環境保全基礎調査報告書(資料編),豊橋市,p.73-79

## 今回の見直しでレッドリストにリストアップしなかった種

今回ラ ンク	判定方 法	前回ラ ンク	種 名	現在も安定して発生している 産地(市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	リストアップしなかった理由	備考(文献など)
-	-	V	ギンボシヒョウモン	-	-	1968年6月に稲武町で採集された記録が愛知県の唯一の記録であり、今回はこの事例をもって選定されている。この記録個体1は近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、県内でのその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	川口寛昭(1969).佳香蝶21(78)p.79
-	-	R	ミカドアゲハ	常滑市	南知多町	1943年8月の名古屋市の記録と1957年5月の美浜町の記録の2例があり、その後再三の調査にもかかわらず未発見であった。1990年に常滑市で再発見され、現在でも同所では相当数の個体が継続的に発生していることが確認されている。人為的な移入である可能性があり、今回、リストからはずした	愛知県の蝶珍品ベスト10選考委員会, 1999, NAPI NEWS, (279)p.2579
-	-	R	ヤマキチョウ	-	-	稲武町(1970), 富山村(1975), 豊根村(1976), 犬山市(1972)の4例のみの記録しかない。今回は富山村, 稲武町, 豊根村の事例をもって選定されていると思われる。前述の4例は、近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、県内でのその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	愛知県の蝶珍品ベスト10選考委員会, 1999, NAPI NEWS, (279)p.2580
-	-	R	シ - タテハ	-	-	犬山市(1978), 豊根村(1984, 他)で5例が確認されている。今回は、この5例の事例で選定されたと思われる。最近、稲武町(1993), 旭町(1998)でも確認されているが、全て近隣の他県からの飛来個体と考えられる。県内ではその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	「旭町の昆虫」(2001)p.268に記載データあり
-	-	R	エルタテハ	-	-	足助町(1939), 名古屋市(1951), 設楽町(1955)で確認されている。今回はこれらの記録から選定されたと思われる。この事例の個体は、近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、県内でのその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	-
-	-	R	キベリタテハ	-	-	豊根村(1987, 他), 設楽町(1981), 足助町(1980, 他)で確認されている。今回はこれらの事例から選定されたと思われる。これらの事例個体は、近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、県内ではその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	-
-	-	R	クジャクチョウ	-	-	足助町(1969, 他), 名古屋市(1975, 他), 豊橋市(1982, 他), 豊根村(1987, 他)で確認されている。今回は東三河の事例で選定されたと思われる。前述の事例個体は、全て近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、県内でのその後の記録はほとんどなく、将来出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	-
-	-	R	ウラキシジミ	富山村, 豊根村, 津具村, 稲武町, 設楽町, 東栄町, 鳳来町, 新城市	-	三河山間部に広く分布し、個体数は多くはないものの、今後も継続的に発生が考えられ、絶滅のおそれはないと判断されるので、今回、リストからはずした	-
-	-	R	オナガシジミ	豊根村	稲武町	最近、豊根村でも発見され個体数も少なくない。今後も継続的に発生が考えられ、絶滅のおそれはないと判断されるので、今回、リストからはずした	-
-	-	R	アイノミドリシジミ	富山村, 豊根村, 津具村, 稲武町, 設楽町, 東栄町	旭町, 足助町, 豊田市	三河山間部を中心に広く分布し、個体数も地域によっては少なくないことが判明しているため、今回、リストからはずした	-
-	-	R	クロミドリシジミ	足助町	旭町, 小原村など	足助町, 旭町, 小原村など分布は限られるが、安定して発生しているため、今回、リストからはずした	-
-	-	R	エゾミドリシジミ	豊根村, 稲武町	-	最近の調査で、豊根村, 稲武町のミズナラを主体とする落葉広葉樹林に広く分布していることが判明。個体数は多くないが、安定的な発生が期待でき絶滅するとは思えないため、今回、リストからはずした	-
-	-	R	キバナセセリ	-	-	1978年8月に豊根村船沢で採集された個体がおそらく愛知県の唯一の記録であり、今回はこの事例をもって選定されている。この採集個体は、おそらく近隣の他県からの飛来個体と考えられ、加えて、その後の県内での記録はほとんどなく、将来記録が出たとしても飛来個体と考えられるので、今回、リストからはずした	-

1) 〒487-0006 愛知県春日井市石尾台1-2 タウン石尾台104-1